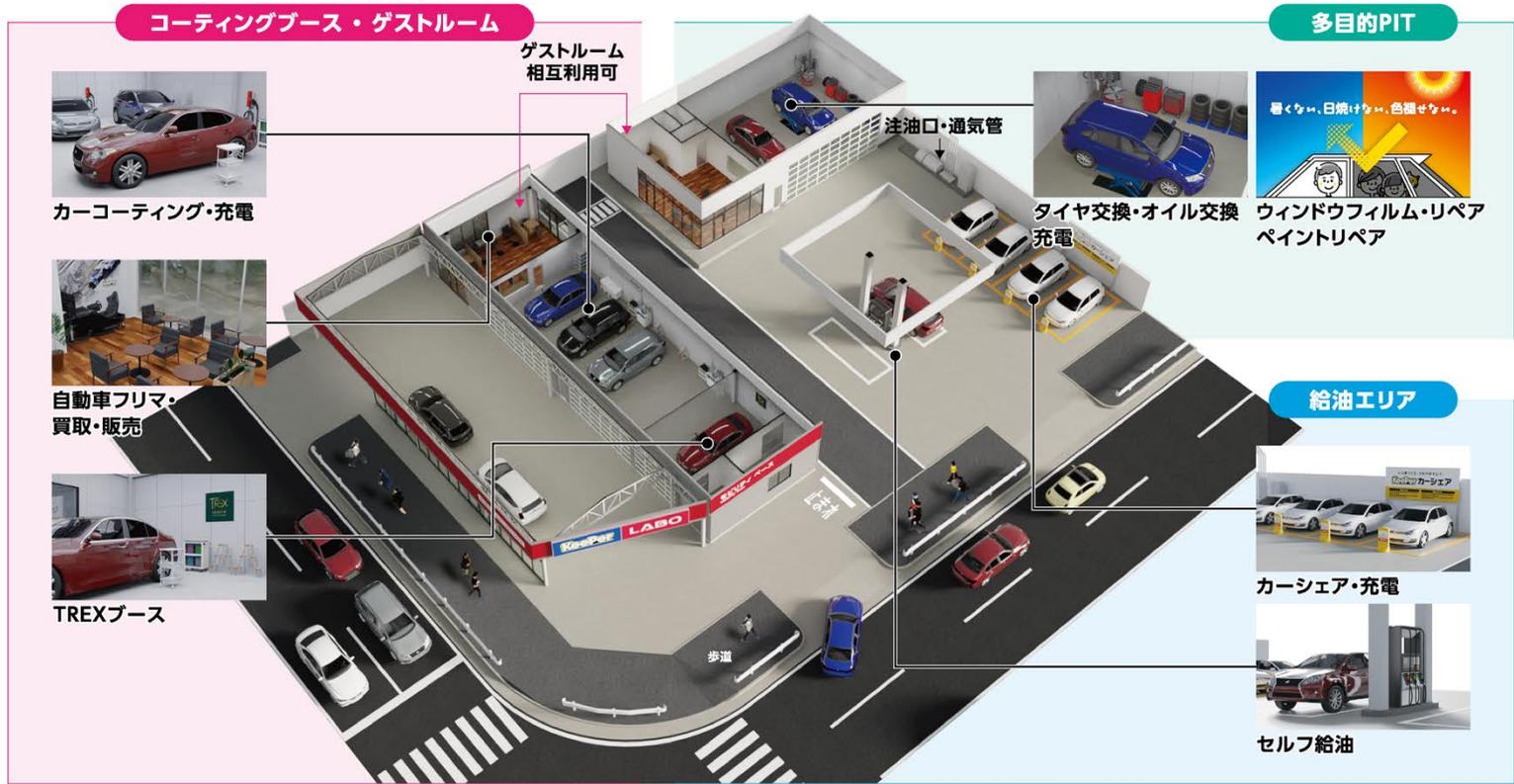


ガソリン車も!ハイブリッド車も!プラグインハイブリッド車も!バッテリー電気自動車も!

未来のKeePer LABOは地域に役立つ「モビリティベース」に



●未来に向けて 自動車・モビリティが「快適に」使われるために

カーボンニュートラルを前提とした未来に向けて、あらゆるエネルギーを使った自動車・モビリティが「快適に」使われるために、KeePer LABOにモビリティに必要ないろいろな要素が揃っていたら、ユーザーにとって一番便利なのではないでしょうか。私たちが日常生活の中で、頻りにコンビニエンスストアを利用するのと同じように…。

モビリティに必要な要素の中で、一番ユーザーに重宝されるのは、当面ガソリンなどの燃料でしょう。

B(バッテリー)EVは、そのバッテリーに大量のレアアースを必要として、そのレアアースを一部の国に大きく依存せざるを得ない問題や、走行距離を確保するために、桁外れに大きな重量を伴う矛盾・不合理などがあり、今PHEV(プラグインハイブリッドEV)ががぜん注目を浴びています。環境負荷の少ない合成燃料の開発・実用化が進み、必ずしもEV一択の未来ではないという見通しも出てきました。

その中で、燃料の販売量こそ数%に減少してしまうかもしれませんが、何らかの燃料の供給インフラが求められるのではないのでしょうか。インフラは、地域にある程度の密度(店舗数)も必要になります。すると1店舗当たりの燃料販売量はまったく多くは望めないで、燃料販売はせいぜい数十キロリットル程度。それで店舗経営が維持できるわけもなく、むしろ燃料販売は副業程度と考えるべきでしょう。

そんな考え方で、燃料販売をモビリティベースKeePer LABOのプラスアルファ機能の一つとしてみました。これは集客においても、利便性においても最強のプラスアルファといえます。ひょっとしたら燃料の消費が今の数%程度にまで抑えられれば、細々とした形であったにしろモビリティベースの形で燃料販売は永続的に存在し続けるのかもしれない。

そんなことを考えて、絵にして見たら、すごく現実的で、世の中にあって不思議でない当たり前の姿に見えて来て、本気で「作る気」になっています。

●モビリティベースに当面欠かせないのは、 燃料を供給できる「マルチ計量器」

40周年記念パーティーでは、現状のKeePer LABO店舗の中で最も古いKeePer LABO中川店を大改造して、ガソリン、タイヤ、ペイントリペア、ウィンドリペア・フィルム、オイル交換、カーシェア、車買取、販売、プロテクションフィルム、車検・保険など、いろんな機能を詰め込んだ店舗を提案しました。

その中に、1本のマルチ計量器を設置しました。このモビリティベースKeePer LABO中川店が、モビリティベースたる所以は、実にこのマルチ計量器にあります。先述したとおり、モビリティベースKeePer LABOにあって一番便利なのは、今の段階においてはやはり燃料でしょう。今後、段階的に減っていくとはいえ、あと10年、15年は、燃料で動く車がそれなりに多く利用されることは間違いありません。過渡期とはいえ、燃料で走る車が徐々に減っていけば、燃料を供給することが本業のガソリンスタンドが経営を維持できなくなって、その店舗数を減らしていかざるを得ない中、本業をカーコーティングと洗車とする燃料付きのモビリティベースKeePer LABOは、悠々



モビリティベース化された未来のKeePer LABO中川店

と経営を維持して、最後の最後まで給油の役割を果たすと思うのです。そこには残存者利益もあるはずですよ。

しかし、今あるKeePer LABOに給油設備を追加工事するのは、とても大きな投資になり、とても採算が取れるとは思えません。そこで、今あるガソリンスタンドの設備を半分残して、あるいは1本だけ計量器とタンクを残し、主役としてモビリティベースKeePer LABOを作ってはどうかと考えました。そんな矢先、KeePer LABOを作ろうとするガソリンスタンドが何軒も現れました。年内には、複数の店舗が完成オープンするでしょう。5年後に250店舗を目標とするFC店への応募が増えていますが、その中の何軒かは、マルチ計量器を1基ないし少数残し、モビリティベースとしてのKeePer LABOが出てくるかもしれません。

●モビリティベースKeePer LABOを実現するために

モビリティベースKeePer LABOとして、多くの車ユーザーにとって、すごく便利な存在へと進化していきはるはずですよ。今期中には無理にしても、来期中にはぜひ作ってみようと思っています。手はじめに「遮熱KeePerフィルム」を始めます。今後の気候変動に伴う猛暑対策として、通常の「日焼け止め・紫外線カット」の能力だけでなく、「暑さを防ぐ・赤外線カット」の能力を備えた「車の窓用遮熱フィルム」を全店で一斉に販売し始め、将来的に技術者も育成していきます。

次に「ペイントリペア」と「ウィンドリペア」が導入間近です。さらにタイヤの販売と車の買取りと販売も在庫なしで、近々スタートする予定になっています。カーリース、カーシェアも勉強中です。一つ一つ、やること、やれることを増やしていきます。

